

高田 本山 だより

お釈迦様の御真骨が眠る

日本唯一のお寺



129

覚王山日泰寺 第三十五世 住職就任

この度、常磐井慈祥法主が日本で唯一、釈尊の御真骨を奉安する名古屋市千種区覚王山日泰寺の第三十五世住職に就任されました。任期は三年間です。

釈尊入滅後、その御真骨を八つに分けて各地に奉安されたと伝えられています。一八九八年（明治三十一年）、インド北部で「これは世尊なる仏陀の舍利を収める器である」と刻まれた壺が発見され、中に収められた遺骨が釈尊の御真骨であることが判明しました。

インド政府はこの御真

骨を仏教国であるタイ国（当時シヤム国）の王室へ寄贈し、それがさらにセイロン（現スリランカ）、ビルマ（現ミャンマー）、日本へも分与されることになりました。

かくして、一九〇〇年（明治三十三年）、日本仏教各宗の代表が協議して、奉迎の使節団を結成し、タイ国王から御真骨を拝受し、日本に持ち帰りました。御真骨奉安の寺院創建は候補地の選定を巡って難航を極めました。が、官民挙げての強力な誘致運動が功を奏し、名古屋市に建立されること

に決し、ここに一九〇四年（明治三十七年）、覚王山日泰寺が誕生しました。ちなみに、覚王とは釈尊のことで、日は日本、泰はタイのことで、まさに仏教を絆にした日タイ友好のお寺だと言えましょう。

日泰寺は、成立の経緯から特定の宗派に属せず、日本仏教各宗の管長が交代で住職を勤める決まりになっています。高田派では、二十三世堯祺上人が一九四九年（昭和二十四年）から六年間、一九八六年（昭和六十一年）から三年間の二回にわたって住職を勤められ、今回は三回目の御縁ということになります。

我が国で唯一の釈尊の御真骨を奉安する名刹の住職を法主殿が勤めになることは大変名誉なこと、高田派門末にとっても喜ばしい限りです。

今回の法主殿の御就任を機縁に挙ってお参りしてみたいものです。

連載第7回

『なもあみだぶつ』を聞くということ

栗原 廣海

「ふたたび「不退の位」を考えよう

前回は、「不退の位」についてすみやかに「和讃」を拝読しておわりましたが、今回も「和讃」の拝読をとおして「不退の位」をもう少し考えてみたいと思います。

聖人は、『正像末法和讃』の第二十七首に、

眞実信心をうるゆえに

すなわち定聚にいりぬれば

補処の弥勒におなじくて

無上覺をさとりなり

とうたわれています。「定聚」は、より正確に言えば「正定聚」と言

います。「必ずさとりを開いて仏になることが正しく定まっている人々の集まり、仲間」のことで、これらの人たちに仲間入りするということは、つまり「不退の位」を得るということなのだ、別のご著書のなかで聖人はおっしゃっています。眞実信心を得て入ることができ、この「正定聚」という位、つまり「不退の位」は、補処の弥勒と同じ位で、次の生には必ず最高のさとりを得ることができると言われるのです。

聞き慣れない言葉が続きますね。「補処」というのは「一生補処」の略語です。一度だけ、この迷いの世界に生を受けるが、次の世には必ず仏になることができる菩薩の最高の位をあらわす言葉で、このあと説明

御本山御用達

鍵長法衣仏具店

京都市下京区油小路正面東入（中央局区内）
電話 (075) 371-0854・8181～2番
FAX (075) 344-2701番
振替口座・0170-3-972番 郵便番号600-8344

創業1586年



松井建設株式会社

取締役社長 松井隆弘

執行役員支店長 佐野祥治

本社 東京都中央区新川一丁目17番22号 ☎03-3553-1150
名古屋支店 名古屋市中区栄五丁目28番12号 ☎052-249-4771

する、菩薩がのぼる五十二の階段の、あと一段で仏になれるという五十一段階目の位です。この位におられるのが弥勒菩薩であるということです。

「仏になることが定まってそこから退転することのない、補処の弥勒菩薩と同じ位」と聞くと、「それはすごいことなんだろうな」とは思うでしょうが、どれほどすごいことなのか、なかなかピンときませんね。でもそのすごさはハンパないのです。

二、菩薩の修行

さとりを目指して修行する人のことを菩薩と言いますが、この菩薩がさとりにいたる階段は、さきほど言いましたように、全部で五十二段あるとされています。修行の深まり具合によって五つのカテゴリーが設けられ、それぞれのカテゴリーには、それぞれ十段階ずつあって、合計五十段階、そしてそ

の上にさらに二段あるのです。厳しい修行によってようやく一段上されるわけですが、この階段を上するのは、並大抵のことではありません。智慧をみがき、徳を身につける、想像を絶する厳しい修行が求められます。

具体的には、自己中心の心を捨てて物質的・精神的に他の人に施す、規律正しい生活を実践する、怒りや怨みをなくして安穏な心の状態を目指す、仏道を勇敢に実践し続ける、智慧を得るために精神を集中させる、それによってもののありのままを見抜く智慧を身につける、これらの実践が必要なのです。そしてこれらを、三祇百大劫^{さんぎひゃくだいしゅう}という、はかり知れない長い長い年月の間、幾度となく生まれ変わりを繰り返しながら修行して階段をのぼり、ようやく「妙覚^{みょうかく}」という五十二段階目の最高位に到達することができるとされているのです。

三、お念仏の智慧と徳

こんな厳しい修行を経て、いま、最高位の一段手前の、次の生には必ず最高のさとりに到達することが約束された「一生補処の位」、「等覚^{とうかく}」とも言われる位におられるのが弥勒菩薩なのです。この弥勒菩薩と、「なもあみあみだぶつ」を聞き信じ、称えて「正定聚・不退の位」についている人と同じであると聖人はお示しくださっているのです。

お念仏の智慧と徳のパワーがどれほどのものか、「正定聚・不退の位」につかせていただくということがどれほどすごいことなのか、そのパワー、すごさはとても言葉であらわせるものではありません。

(高田派鑑学・誓元寺住職)



日本古来より伝わる土壁の家づくりと伝統建築の保護・再生
土壁・漆喰・竈の伝統技術を守り継承していきます

一層築舎
Sochikusya Co., Ltd

〒510-0031 三重県四日市市浜一色町 16-35

TEL 059-332-1444 FAX 059-344-2627

E-mail: souchikusha@gmail.com URL: https://tutikabe.net/

井

法衣・仏具製造及び販売

筒



井筒法衣店

都

京

代表取締役社長 今岡 規代

●本社

600-8468

京都市下京区堀川通

新花屋町角(西本願寺前)

TEL 075-351-1234

FAX 075-341-7905

●東京店

160-0003

東京都新宿区四谷

三栄町十四番地111

TEL 03-3358-1500

FAX 03-3359-8902

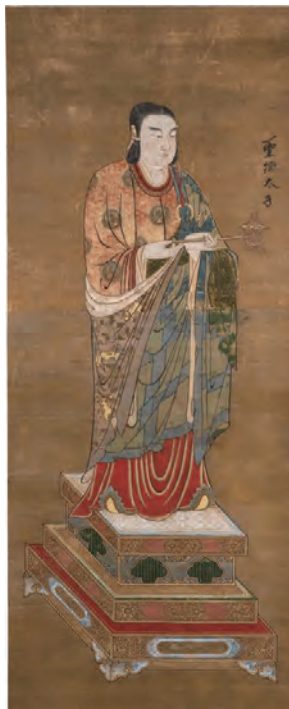
1207SU

聖徳太子シリーズ②

「高田本山の聖徳太子」

親鸞聖人は生涯にわたり聖徳太子を篤く敬われました。そのお心から全国の真宗寺院に聖徳太子のお姿がご安置されることになりました。それでは高田本山の太子様をご案内します。

十六歳孝養絵像



十六歳孝養絵像

本山境内に入られて、左手にそびえる如来堂に上がると、内陣正面に阿弥陀如来の木像、右側に七高僧、左側に聖徳太子の絵軸がご安置されています。この内陣の莊嚴は聖人が弥陀の本願が七高僧そして太子を通じて届けられたと感得された弥陀回向のはたらきを表しています。

太子は髪を美豆良に結い、色衣に七条袈裟を身につけ、胸元に両手で柄香炉を持った凛々しい立ち姿で描かれています。これは太子が十六歳の時に父・用明天皇の病氣平癒を願い、夜を徹して念じられたという伝説によるもので、「孝養像」と呼ばれています。

十六歳真俗二諦像

如来堂の斜め前に太子堂があります。中に入ることにはできませんが扉の間から覗くと、高さ八〇cmほどの太子の木像がご安置されています。こちらは太子孝養像と似ておりますが「真俗二諦像」と称され、「袈裟」や「柄香炉」が「真」を、上に羽織っている「袍」が「俗」を象徴し、世俗の中に真実を説かれた太子の生涯を表しています。



十六歳真俗二諦像

この太子像は鎌倉時代後期に作られたもので、上半身は裸で胸の

この像は聖人七百五十回のご遠忌に当たり、福井県の高田派寺院・教林寺住職、佛師でもある三浦世雄氏が一年掛りで作成されたものです。

本山宝物館（現在建設中）に高さ七〇cmほどの可愛らしい姿の太子像が所蔵されています。太子が二歳の時、二月十五日（釈尊入滅の日）のあけぼの。誰に教わることもなく、東の空に向かい手を合わせ「南無佛」と称えられた。この時、太子の手から佛舍利がこぼれ落ちたと伝わります。（その時の佛舍利は現在、法隆寺の寺宝として水晶の塔に納められ大切にされています。）

二歳南無佛太子像 津市指定文化財



二歳南無佛太子像

前でしっかりと手を合わせ、緋色の袴をはき、ふつくらとした立ち姿をしています。

この像は昭和五十四年に如来堂裏より解体された状態で発見され、京都の佛師によって復元されました。

（教学院第三部会）

遠推御用
達御推
山教会
本仏教
田県
高三重

石碑
石記
念碑
燈籠

高級御影石専門店

御影石材株式会社

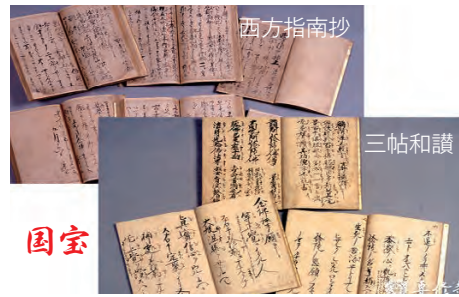
（石に御用の方は）

0120-142540

本店 津市広明町（新見寺門前）
☎059-224-1700（代）

特別法要 事務局だより

第2回 宝物館の宝物とは何か



国宝

『西方指南抄』

親鸞聖人が師匠である法然上人の法語・消息・行状記などを、収集した書物で、上中下の3巻があります。

『三帖和讃』

「浄土和讃」「浄土高僧和讃」「正像末法和讃」の3帖からなっており、日本の言葉で佛・菩薩や高僧のお徳をたたえた讃歌であります。

高田本山の宝物館にある法宝物とは何でしょうか。

宝物というと金銀財宝を思い浮かべるかもしれませんが、高田本山という宝物とは「南無阿弥陀仏の教え」ということです。特に南無阿弥陀仏の教えを分かりやすく説かれた書物や仏さまを描いた掛軸などが高田本山では法宝物と呼ばれます。

宝物館の中には、親鸞聖人直筆の書物であります『西方指南抄』や『三帖和讃』があり、こちらは国宝となっており、今日まで大切に受け継がれております。それ以外にも、親鸞聖人直筆とされる書物や消息（手紙）も多数収蔵しております、歴代上人が書かれた教典の解説や天皇家からの御手紙なども宝物館に収められております。

法宝物の中には国・県・市指定が約416点、それ

以外の法宝物も2000点以上あります。親鸞聖人の真筆文書は、真宗10派の中でもっとも所有しており、4割強を高田本山が所有しております。どうして沢山の法宝物が高田本山に残されているのでしょうか。かつて、高田本山がまだ無量寿院（第十世真慧上人建立）とよばれた時代のことです。



親鸞聖人自らが建立された栃木県真岡市にある専修寺が兵火により焼失した際、多数の法宝物がこの高田本山に移されることになりました。それから幾多の

時が過ぎても、高田本山では親鸞聖人の教えを守り、大切に法宝物を守り続けてきております。

また、親鸞聖人の教えを守ってきた由緒ある寺院としての功績を称え、多くの方々から法宝物の寄進を頂いております。ぜひ、ご自身の目で体感いただければ幸いです。

只今、特別法要事務局では新宝物館建設にあたり、御懇志を受け付けております。御懇志を進納されましたすべての方のお名前を墨書して、貴重な法宝物と一緒に宝物館に奉納致します。

また、新宝物館では名称募集をしております。命名者には賞品として、宝物館入館無料パスポートを進呈致します。あなたの考案した名称が新宝物館に命名されるかもしれません。奮ってご応募ください。

令和5年春オープン

新宝物館名称募集

賞品 宝物館入館料無料パスポート(1名分)

応募作品の一切の権利は高田本山専修寺に帰属します。また、応募作品は自作で未発表のものに限ります。応募者の個人情報については、作品の審査及び発表の範囲内において利用します。命名者の氏名は公表させていただきます場合があります。入館料無料パスポートは1名分のみ(期限：2050年まで)となります。

募集要項

応募締切： 令和4年(2022年)5月31日(火曜日)
※当日消印有効

応募件数： お一人につき1点まで

応募方法： ハガキ、メール、FAX

結果発表： 令和4年(2022年)6月頃
宗報ならびに本山だより、高田本山HPにて発表

必要事項をご記入のうえ、下記名称係までご応募ください。
名称、名称説明、住所、氏名、連絡先、所属寺院名(高田派に限る)

特別法要事務局 名称係
〒514-0114 三重県津市一身田町 2819 番地
Mail: tanjou850@senjuji.or.jp
TEL: 059-232-4177 FAX: 059-232-4175

本寺専修寺の紹介

一四六五年（寛正六年）第十世真慧上人が教線拡張のため寺基を伊勢国一身田に移され、二つの専修寺が並立することとなりました。一九四九年（昭和二十四年）「宗制」によって伊勢一身田を本山とし、下野高田を本寺と呼ぶようになりました。その本寺の紹介をいたします。

本寺専修寺は親鸞聖人が建立された唯一の寺院であり、専修念仏の根本道場とされた聖地であります。全国各地から集まった多くの門弟や信奉者たちが御聖人のお話を聞き、ひたすら念仏したのです。御聖人の布教の拠点であり、ここを中心として高田門徒が形成され、中でも真佛・顕智両上人は、御聖人の後を継いで初期真宗教団の護持発展に中心的な役割を果たされました。

それから八〇〇年を経た現在も約二万坪の境内には、伽藍が整然と建ち並び御聖人の往時が偲べれます。

正門、下乗橋を渡ると草創期から伝わる重厚な茅葺屋根の総門（国重文）があり、それを通り抜けると荘厳な総櫓づくりの楼門（国重文）があります。正面軒には江戸時代の名筆公猷法親王の筆な「高田山」の扁額が仰ぎ見られます。楼門の正

面には如来堂（国重文）があり御聖人自らお迎えた善光寺佛の分身「一光三尊佛」が安置されています。今までに七代の天皇が御拝されているため「天拝一光三尊佛」と尊称されています。秘佛として、十七年毎に御開扉され、二十回目の次回は二〇三〇年に予定されています。普段はお前立ち本尊（県重文）を参拝することが出来ます。



如来堂の右手奥にそびえる御影堂（国重文）は、県内最大級の文化財建造物として評価が高く、中央には七十六歳のお姿と

伝えられ「等身の御影」と呼ばれる親鸞聖人座像、右に真佛上人、左に顕智上人（共に国重文）が座し、歴代上人の御影がそれに続いています。

境内には他にも木造金箔塗三門で日本一と言われる涅槃像（県重文）を安置する涅槃堂、御聖人が崇拝されたと伝えられる南無佛太子像（県重文）を安置する太子堂、勅願寺縁起の銘のある梵鐘の鐘楼、大太鼓を有する鼓楼などが建ち並びます。如来堂西には祖廟（国史跡）があり、顕智上人が京都から持ち帰った歯骨を収めた石塔が建っています。

また顕智上人を偲び、始められたと伝えられる「高田まち」が毎年八月一日、二日にかけて開催され、大勢の参拝者が訪れ、境内には百店舗に及ぶ露

店が並び、深夜まで賑わいます。

他にも、おこしかけと呼ばれる般舟石や、三谷草庵など御聖人ゆかりの史跡が多数あり、御同行様のご参拝を賜りますようお願い申し上げます。

〒321-4511

栃木県真岡市高田一四八二

【TEL】

0285-75-0103

【FAX】

0285-75-0163



● 行事案内

三月十五日

涅槃会

※涅槃図公開二十一日迄

三月十八日～二十四日

讃佛会

三月十九日～四月三日

写生大会

四月六日～十一日

千部法会

四月八日

釈迦三尊仏法会

※山門特別拝観（法会后）

四月九日・十日

十万人講法会

四月十一日

戦没者追弔法会

五月六日～八日

堯祺上人御正當

五月二十一日

親鸞聖人降誕会

五月二十二日

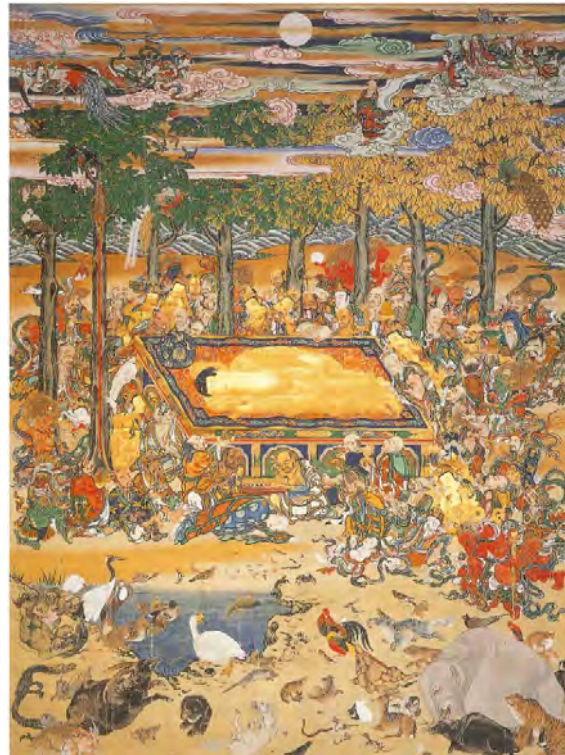
お待ち受け法会

※涅槃図公開・山門特別拝観・初参式など感染症の状況により変更または中止にする場合があります。

※三月中学生教化合宿は中止いたします。

※変更・中止などにつきまして詳しくはホームページをご確認ください。
(<http://www.seni-ji.or.jp>)

県内最大級の大涅槃図



三月十五日の涅槃会に合わせて、佛涅槃図の展示を今年も三月十五日から三月二十一日まで展示します。

涅槃図とは、横になっているお釈迦様を中心に菩薩や羅漢、諸天、僧、衆生などのほか、動物に

到るまで、あらゆる生きとし生けるもの（一切衆生）がお釈迦様を取り囲み、嘆き悲しむ入滅の情景を描いた仏画のことです。

高田本山の佛涅槃図は、絵の部分縦約五メートル五十、横が約四メートル、畳十八畳分と

いう大きさで、表具を入れると高さ約六メートルを超える、とても大きなものです。江戸後期の作と伝えられていますが、その作者ははっきりしていません。

また畳十八畳分の大きさも然ることながら極彩色に塗りこまれた力強い上部と、繊細な筆遣いの中にも奇抜な構想の下部が不思議と調和して独特の世界観を作り出しているのも魅力のひとつと言えるでしょう。是非この機会に拝観してみてください。

十五日（火）、十九日（土）～二十一日（月・祝）は絵解きを予定しております。（拝観料不要）詳しくはHPなどをご確認ください。

永田文昌堂

最新刊
命輝く 真宗の肝要に触れる
北村文雄著 定価1100円（税込）
真宗の教えを、できるだけ平易な表現で総合的に解説した手引書。主な内容として、「真宗における行・信」「七高僧の教義概観」「真宗別伝・真意を尋ねて」など

親鸞さんはなぜ神を拜まなかったのか
日本人のアイデンティティ「神道」を問うー
野世信水著 定価3300円（税込）
親鸞の念仏の最も本質的な部分である神祇不拜。その意味を明らかにし、仏教の本質とは何か、戦争や天皇制などを含め、今日を生きる者としての課題を追求する。

京都市下京区花屋町通西洞院西入 ■TEL 075-371-6651 ■FAX 075-351-9031

自分史、句集、歌集、写真集、画集、エッセイなど…

本にしませんか？

編集 おまかせください！
手書き 原稿OK！
予算に 応じたご提案
お見積り 無料！

「本を作ってみたい」というあなたの想いを、企画から制作・編集・校正、印刷、製本まで一貫して本づくりをサポートします。



印刷から情報価値創造企業へ

株式会社 オリエンタル

お気軽にお問い合わせください。

tel.059-245-3111(代)

こんな行事がありました

今年の報恩講（お七夜）は
 多人数が集まる行事以外は
 開催することが出来ました。

本年も成人の日に合せて
 お七夜はたちの集い（旧新
 成人のつどい）を開催いた
 しました。御影堂での中陣
 参詣後、賜春館しゅんかんにおいて、
 ここまで育てていただいた
 ご恩を胸に、一人の社会人
 としての抱負を短冊に書い
 ていただきました。

一月十二日（水）お七夜
 婦人連合会が約五十名の参
 詣のもと御影堂に於いて開
 催されました。

お日中に参詣して、豊橋
 市正太寺住職大河戸悟道師
 のお説教を聴聞しました。

一月十三日（木）に開催さ
 れたお七夜坊守会は、例年

※疾病の拡散防止のお願い

参詣の際や、行事等にご参加いただく場合には、引き続き感染防止対
 策にご協力ください。また、状況により各種行事が中止または内容が変
 更される場合もございます。

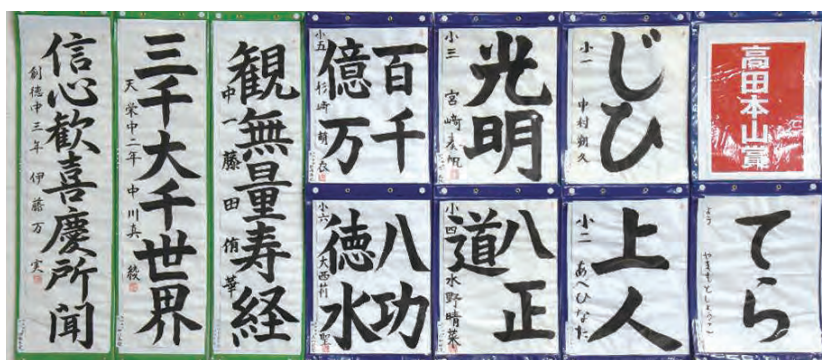
とは違い、はじめに速夜参
 詣をいたしました。その後、
 速夜の説教師であった戸田
 恵信師を第一会議室にお招
 きして、質問に答えていた
 だき、より詳しくみ教えを
 紐解いていただきました。

一月十五日（土）に恒例
 のお七夜婦人連合会初夜参
 詣が行われました。三重県
 各地から集われたお同行様
 は、婦人連合会以外の参詣
 者も多く加わって、初夜が
 始まる午後四時三十分には
 約百人が御影堂に集まりま
 した。

初夜勤行では法主殿が報
 恩講式の初段・二段・三段
 を御通読ごつどくされました。続け
 て亀山市正念寺住職梅林久
 高師のお説教を聴聞して午

後七時前に法会が終了しま
 した。御影堂を後に帰路を
 ゆく方々の笑顔が印象的で
 した。

恒例のお七夜献書展は
 七四三三の出品があり、例
 年通り廊下に展示しまし
 た。今回は最優秀賞である
 高田本山賞を各学年一名と
 した為受賞の難度がより上



がりました。

ののさまを描こう展に今
 年は十五園から四一一点の
 ご参加をいただき、園児た
 ちの愛らしいののさま（仏
 様）に心癒されました。



専修寺 YouTube チャンネル

YouTube チャンネル
 を開設いたしました。
 ホームページのリンク
 からご覧ください。

寺院名



高田本山
 三重県津市一身田町
 2819
 真宗高田派本山専修寺



ニュース
 情報番組 **Mieライズ**
 毎週月～金曜日 17:40～生放送！
 コメンテーターを交え、三重の今を
 深掘り！ニュース、スポーツ速報、
 旬な情報満載でお届けします。

- 旬感★Mie 各市町情報
- キチキチキッチン 5分で簡単料理
- 三重の工芸 4Kで迫る匠の技 など

MTV 三重テレビ放送

エっとくんの
 LINEスタンプができたよ



LINEアプリ
 ⇒スタンプショップ
 LINEストア
 ⇒クリエイターストア
 どちらかで
 Q 三重テレビ放送